



島内颯太郎選手が凱旋帰福

プロ野球選手の野球教室

広島東洋カープに所属する島内颯太郎選手が、12月26日に福井市長を表敬訪問。その後、中学生を対象とした野球教室を開催しました。約90人の野球部員が集まり、グループに分かれて野球教室がスタート。投球練習をする生徒たちに島内投手が声を掛けたり、フォームの指導をしたり、プロ野球選手と触れ合う貴重な時間を生徒たちは満喫していました。島内投手への質問タイムが始まると生徒たちが次か



▲野球教室の合間に生徒たちと談笑する島内選手

ら次に質問。「中学生のときにやっておいた方がいいことはあるか」といった質問に島内選手は真摯に答えていました。その後サイン色紙・サインボールを贈ると、生徒たちは大盛り上がりでした。最後に生徒代表から島内投手にお礼の言葉が贈られ、島内投手の「この中からプロ野球選手が出てくることを楽しみにしています」という言葉に盛大な拍手が送られていました。

ダンスを通じたメッセー

ブレイン体験授業

「東急不動産ホールディングスWDS F世界ブレイン選手権2025久留米」が開催され、この大会に出場した選手たちによるブレイン体験授業が、12月15日に福岡中学校で行われました。生徒たちはパリオリンピックのメダリストらの演技を間近で見るとともに、実際にダンスの指導を受け、楽しそうに踊っていました。また、生徒が「どのくらい練習しているか」と質問すると「毎日キン」と答えるなど、年齢の近い選手たちから刺激を受けていました。



▲選手からダンスの指導を受ける生徒たち

消防の活動を身近に

宗像地区消防出初式

新しくなった福津消防署で、1月12日に宗像地区消防出初式が行われました。当日は多くの市民が訪れ、消防団員の規律ある行動や車両展示を通して、地域の安全を守る消防の活動を身近に感じられる機会となりました。式では、消防職員による放水演技「直上曲水」が行われ、冬空にまっすぐ立ち上がる水柱に、来場者から大きな拍手が送られました。また「幼年消防クラブ」による合唱や、はしご車の試乗、ちびっこ防火服の着用体験などが行われ、にぎわっていました。



▲消防職員が3年に一度の「直上曲水」を披露

平和の尊さを語る

人権講演会

「ともに考える平和の大切さと核兵器問題」をテーマにした人権講演会を、12月6日に市中央公民館で開催しました。

県原爆被害者団体協議会事務局長の南嘉久さんが講師を務め、南さんの語る被爆体験や平和への願いに多くの市民が聞き入りました。



▲平和への願いを語る南さん

バレエで輝く若き才能

オーシャンバレエスクールがコンクールで活躍

津屋崎のオーシャンバレエスクールの生徒の高嶋さん、福井さん、藤井さん、アシスタントの赤間さんが主要大会でいずれも1位を獲得し、12月23日に市長を表敬訪問しました。さらに、教師が4回の最優秀指導者賞を受賞するといううれしい報告もありました。



▲賞状を掲げるオーシャンバレエスクールの皆さん

衛生管理の取り組みが高く評価

食品衛生事業功労者として厚労労働大臣表彰受賞

市内で「大阪屋」を営む川崎道孝さんが、食品衛生事業功労者として表彰を受けました。

川崎さんが菓子製造業を営み、長年にわたって食品衛生の向上、発展のために努力してきたことが厚生労働大臣から高く評価されました。



▲表彰状を掲げる川崎さん(左)と市長

カッターレースで全国の頂点に

県立水産高校カッター部が全国大会優勝

県立水産高校カッター部が「第27回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会」で念願の初優勝を果たし、12月23日に市長を表敬訪問しました。

大会では予選から全て1位通過。生徒は練習はきつかったけれど優勝できてうれしい」と語っていました。



▲ガッツポーズをするカッター部の皆さん

人権イメージキャラクターに出会って

うめさくさんからの投稿です

街角カメラレポート

カメラステージ入り口の人権の横型看板には、アンパンマンの作者・やなせたかしさんが制作した可愛い2人の人権イメージキャラクターが描かれている。調べてみると、男の子が平成13年に誕生した「人KENまもる君」で、女の子が平成14年に誕生した「人KENあゆみちゃん」。2人とも前髪が「人」の文字を表し、胸には人権を表す「KEN」のロゴがある。

2人は法務省の人権擁護機関が行う人権啓発イベントなどで活動し、市でも保育園などに登場して子どもたちに親しまれている。

これをきっかけに少し人権について学んだ。市の小学生から高校生が書いた人権作文や標語、ポスターをまとめた「きずな」では作品を通して多くの学びがあり、温かいまなざしを感じた。また、市人権政策課発行の人権啓発冊子ではさまざま

まな人の意見を知ることができた。人との関わりが多様化している現代社会。私は、一人一人の個性を認めあって、肩にそっと手を置くような温かい心を育てていきたい。

▶子どもと交流する人KENまもる君

